

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス 手と手の広場		
○保護者評価実施期間		2026年1月13日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間		2026年1月13日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	みんなが手話で伝わり合う環境の中で、異年齢の違う子どもたちが学び遊ぶことができる場を提供している。	音声中心の子どもも手話中心の子どもも、みんなが手話や指文字を使い、お互いコミュニケーションがとれる環境を作っている。	指導員の聴覚障害児に対する理解、支援の仕方など専門性や手話力の向上を図っていく。
2	発音・発語指導、国語力の育成、コミュニケーション能力の向上、社会参加への支援等における専門性を有している。	児童が楽しく発音・発語指導ができるように計画している。	苦手な児童も参加で出来るように環境を整える。
3	子どもや保護者との意思の疎通や連携が日常的に取れている。	その日の子どもの様子や気付きを、担当した指導員は直接、保護者と話をするようにしている。また、直接話せない場合や施設見学、体験活動等の行事、緊急時にはLINEで伝えるなど連携を密にしている。 毎日、入り口に活動の様子を「写真館」(A4)と題して掲示している。	送迎を利用している保護者には、より密な連携が取れるよう連絡専用のLINEを活用する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急対応時のマニュアルや避難訓練の実施など、全保護者、全利用者に周知、説明することに時間がある。	児童ごとに来所曜日がまちまちなので、全員が避難訓練を経験することがなかなかできにくい。	来所人数が多い日を確認し、複数回避難訓練を計画して全員が参加できるようにする。保護者に避難訓練の実施日や実施後の内容、様子等を丁寧に伝えていく。
2	課題学習と遊ぶスペースが混在しているので、子どもの活動が限られている。	建物が古くスペースが100m以下で、柱が中心にあり、また職員の机等もあるため狭いと感じている。	活動によって机、椅子を移動して活動のスペースを確保している。また、近くの公園等でのびのび活動できるように計画する。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービス 手と手の広場
------	------------------

公表日 2026年2月13日

利用児童数 14

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2	小学校低学年にとては狭いと思う（体を使って遊びたいと思う）	行事や活動によって、机の配置や移動することで、それぞれの活動にあったスペースを確保しています。 近くの公園を使用して身体活動を実施しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2		
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3			スマホの使用に関してルールを決めて欲しいです。学校と同じまでとは言いませんが、迎えに行った際、入り口から見える場所で複数人の子どもがスマホを見ている姿を見かけて、「何のために通っているのかな？」と思う日がありました。高学年のお子さんは低学年の子たちのお手本になると思いますので、ディの先生方からも声かけ等してほしいなと思いました。	職員の勤務中のスマホ使用は禁止しています。家庭との連絡で学校が許可された一部の児童生徒が持参しています。使用禁止のルールは決めていませんが、子どもの状態や様子、スマホの内容を見ながら終えるように声かけをしています。正直なところ、職員も悩みながら対応しています。使い方については子どもたちと一緒に相談しながら考えて行きたいと思います。
適切な支援の提供	4	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			その子のペースで通所できるよう声かけてもらっている。理解してもらっていると感じる。	前日や前回の児童の様子や出来事を職員間で伝達し合っています。
	5	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				
	6	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	7	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1	子どもが行ったり行かなかったり、通所の頻度がまちまちなので、実感として分かりにくい。	支援計画説明時に課題と支援についてより詳しく説明したいと思います。
保護者への説明等	8	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	13					
	10	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	11	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1		
	12	定期的に掲示物や通信・ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			1		
	13	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			2		
	14	事業所では、緊急時対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3	私が知らないだけかもしれません。	「災害時の行動」表を見える形で掲示しています。保護者への訓練日等の周知を図ります。
非常時等の対応	15	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		4	いつ行われたのか、知らせがないので分かりません。	毎年、防災の日前後や学校での避難訓練日を意識して避難訓練を実施しています。1月6日の島根県東部の地震では子どもたち、職員共に冷静に対応することができました。行事等のお知らせの周知徹底を図りたいと思います
	16	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2		1		
	17	こどもは安心感をもって通所していますか。	13					
満足度	18	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			いつも楽しく通所させて頂いています ありがとうございます。	子どもたちが楽しく通所してくれるのが一番だと考えています。
	19	事業所の支援に満足していますか。	13					

事業所における自己評価結果						
事業所名	放課後デイサービス 手と手の広場			公表日 2026年2月13日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が個別指導支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1		来所する人数によっては狭いと思うこともある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			来所する人数にもよるが、子どもたちを複数で見守る状態が作られている。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	行事によって、机の配置を変えるなど工夫している。 毎日、清掃している。	創作活動のための箱etcの置き場が改善できると良いと思う。
業務改善	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		昨年度よりも児童の様子について細かく共有できるようになった。 コミュニケーションを取りやすい環境になっている。	
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			
適切な支援の提供	7	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9			
	8	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	9	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		個別支援計画の話し合いが、もう少し行われても良い。
保護者との機関連携	10	個別支援計画計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	12	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		前日の児童の様子や出来事を職員間で共有している。 話し合いが以前よりも増え、情報共有に繋がることができた。 週に1度しか勤務していないのですが、昨日の子どもの様子や人間関係等もごまめに伝えてくださるため、助かっています。	
保護者への説明	13	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		担当した児童の様子などを端の指導員に伝え共有している。	
	14	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
保護者との機関連携	15	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行ってているか。	10			
	16	自立支援協議会地域部会へ参加しているか	9			
保護者への説明	17	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			送迎を利用している保護者との連携がとりにくいうに思う。
	18	定期的に掲示物、通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10			
	19	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		記録ファイルの置き場が改善できると良い。 (児童の目に触れない所)

明等	20	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
非常時等の対応	21	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		感染症対策マニュアルを職員間で周知した方がよい。
	22	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	23	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	24	感染症集団発生防止のために、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、換気、加湿、体調管理対策、また陽性者判明時に適切な対応をしているか。	8	1	手洗い等、安全に過ごせるように声掛けしている。	適宜、言葉かけはしているが流行時にはより意識付けてできるようにするとよい。 感染拡大しないために、もう少し徹底した方が良い。